

快速誇る山崎賢人が主役

シン東京ミリオンナイトレースは、7月14日～16日の3日制で開催されるナイトG3。レースプログラムはS級戦が7個レース3日制、ガールズが2個レース3日制×2となっていて、見どころが満載のシリーズだ。S級戦は世界選ケイリン金メダリストの山崎賢人が人気の中心となろう。ガールズも児玉碧衣、石井寛子、梅川風子、太田りゆら強豪ぞろい。真夏の夜に繰り広げられるスピードバトルは目が離せない。

24年UCI自転車世界選手権大会のケイリンで、金メダル獲得の快挙を達成した山崎賢人。だが、競輪での成績は今ひとつだ。昨年は6月に久留米記念で優勝するなど2Vを飾っているが、今年はまだ決勝で確定板入りがなく、4着が最高の数字だ。とは言え、ダ



山崎賢人

ビーの一次予選、高松宮記念杯の西一次予選1では、いずれも2着に入っていて、随所でワールドクラスのスピード、ダッシュ力を効かせた自力攻撃を披露している。今後は誘導妨害のペナルティで長欠に入る。その分も1枚上のスピードにものを言わせて優勝をものにするとみた。松岡貴久が山崎とタッグを組む。今年は安定した成績を残している。まだ優勝には手が届いていないものの、準Vが3回。高松宮記念杯では3

走目に1勝をあげている。山崎の仕掛けにきっちり続ければ九州ワンツーは有力だ。

地元の鈴木玄人がG3初Vに闘志を燃やす。6月平塚では、先行とまくりを使い分けての3連勝でS級初Vをゲットしていて、最近では自力攻撃に一段と磨きがかかった感がある。直近4カ月の競走得点も110点の大会に乗せた。自力勝負でも優勝は十分に狙えるが、関東スジの吉田有希との連係が叶うようなら前を任せるか。その吉田は相変わらず先行基本の競走で奮戦していて、直近4カ月の連がらみの決まり手はジャスト8割が先行だ。5月宇都宮記念、6月取手記念では、いずれも3連対の大活躍。高松宮記念杯でも4走目に勝ち星を手にしていて、最近の調子も申し分ない。タ

イミングよく仕掛けて先手を奪えば、強じんな粘りを発揮する。百戦錬磨のベテラン・和田健太郎が関東勢に加勢なら、ラインは更に強化する。

レース巧者の岩津裕介も有力な優勝候補の一人だ。取手記念では準決2着で決勝に進出、高松宮記念杯は西二次予選2着で西準



鈴木玄人



岩津裕介

決にコマを進めていて、相変わらず高いレベルで成績をまとめている。中四国の上位陣には自力型が手薄なので、動向が注目される。メンバー構成次第では、九州勢との連係もあるか。

ダークホースは中金章成だろう。当所には好実績を残している。一昨年の記念開催では準決で勝ち星をゲットすると、昨年は2⑨①②着と3連対を果たしている。高松宮記念杯では3走目に石原颯の逃げをまくりで仕留めていて、十八番のまくりには素晴らしい破壊力がある。仕掛けがツボにはまると怖い。中金には中近スジで山口富生が続くか。55歳の大会ベテランながらあふれる闘志は健在で、年齢を感じさせない差し脚を披露している。

阿部拓真、伏見俊昭の北日本勢も侮れない。阿部は宇都宮記念で2①②②着と好走すると、6月別府記念は3②③着とまとめた。ただ、高松宮記念杯では初戦で落車し、以後は欠場したので、体調には一抹の不安が残る。

シン東京ミリオンナイトレース 出場予定選手

※2025年07月10日現在のデータです。

級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
S1	山口富生	岐阜	68 期	108.14	S2	金子真也	群馬	69 期	97.00	S2	野口正則	奈良	105 期	91.21	L1	児玉碧衣	福岡	108 期	58.10	L1	山本さくら	愛知	120 期	46.86
S1	新田康仁	静岡	74 期	105.03	S2	澤田義和	兵庫	69 期	97.50	S2	西田将士	長崎	105 期	91.07	L1	田中千尋	愛知	114 期	47.00	L1	野寺梓	静岡	126 期	46.29
S1	伏見俊昭	福島	75 期	108.22	S2	那須久幸	福岡	71 期	99.69	S2	山本拳也	高知	109 期	102.80	L1	藤田まりあ	埼玉	116 期	54.00	L1	是永ゆうき	大分	126 期	50.14
S1	堤洋	徳島	75 期	101.71	S2	西浦仙哉	三重	73 期	87.24	S2	奥村諭志	岡山	111 期	95.00	L1	清水彩那	静岡	116 期	49.88	L1	大浦彩瑛	神奈川	126 期	55.33
S1	和田健太郎	千葉	87 期	111.12	S2	佐々木則幸	高知	79 期	99.54	S2	嵯峨昇喜郎	青森	113 期	107.74	L1	保立沙織	神奈川	118 期	47.05	L1	岡田優歩	和歌山	128 期	51.58
S1	岩津裕介	岡山	87 期	112.36	S2	伊勢崎彰大	千葉	81 期	102.24	S2	内山雅貴	静岡	113 期	98.09	L1	國村美留莉	山口	118 期	50.09					
S1	松岡貴久	熊本	90 期	109.85	S2	佐藤慎太郎	福島	83 期	97.28	S2	小原文一郎	青森	115 期	99.30	L1	菅原ななこ	宮城	120 期	48.94					
S1	坂口晃輔	三重	95 期	104.38	S2	近藤俊明	神奈川	87 期	93.52	S2	浅見隼	福岡	115 期	91.42	L1	野寺楓	静岡	122 期	49.52					
S1	久米康平	徳島	100 期	102.85	S2	大屋健司	広島	87 期	98.03	S2	藤田周磨	埼玉	117 期	100.83	L1	普久原美海	栃木	126 期	45.22					
S1	元砂勇雪	奈良	103 期	105.08	S2	岡本大嗣	東京	88 期	102.60	S2	仲野結音	大阪	117 期	95.63	L1	中島瞳	埼玉	126 期	51.16					
S1	阿部拓真	宮城	107 期	109.33	S2	田中誠	福岡	89 期	103.71	S2	田口勇介	秋田	119 期	91.48	L1	伊藤優里	三重	126 期	50.32					
S1	大矢崇弘	東京	107 期	103.08	S2	近藤隆司	千葉	90 期	97.73	S2	橋本社史	茨城	119 期	106.14	L1	川原未紀	千葉	128 期	48.55					
S1	池野健太	兵庫	109 期	101.00	S2	小菅誠	神奈川	90 期	95.85	S2	谷口力也	熊本	119 期	92.16	L 級 B									
S1	林大悟	福岡	109 期	110.50	S2	天田裕輝	群馬	91 期	97.67	S2	山口多聞	埼玉	121 期	101.96	L1	石井貴子	東京	104 期	51.86					
S1	山崎賢人	長崎	111 期	113.85	S2	柴田洋輔	東京	92 期	100.68	S2	河崎正晴	熊本	121 期	93.69	L1	田中まい	千葉	104 期	50.95					
S1	中金章成	大阪	113 期	108.29	S2	山口貴弘	佐賀	92 期	103.85	S2	松崎広太	茨城	123 期	103.91	L1	佐藤友香	青森	110 期	45.21					
S1	寺沼拓摩	東京	115 期	104.78	S2	北村信明	徳島	93 期	98.84	S2	黒瀬浩太郎	広島	123 期	104.20	L1	太田りゆ	埼玉	112 期	56.78					
S1	晝田宗一郎	岡山	115 期	104.25	S2	西岡拓朗	広島	97 期	98.96	S2	橋本宇宙	佐賀	123 期	99.13	L1	梅川風子	東京	112 期	58.80					
S1	原井博斗	福岡	115 期	104.09	S2	田中陽平	熊本	97 期	102.22	S2	栗山和樹	岐阜	125 期	105.10	L1	太田美穂	三重	112 期	55.33					
S1	鈴木玄人	東京	117 期	110.67	S2	久木原洋	埼玉	97 期	104.19	L 級 A				L1	豊岡英子	大阪	114 期	51.63						
S1	吉田有希	茨城	119 期	106.72	S2	小玉拓真	岡山	98 期	91.60	L1	石井寛子	東京	104 期	56.38	L1	杉浦菜留	愛知	118 期	52.71					
S2	紺野哲也	宮城	69 期	104.14	S2	保科千春	宮城	100 期	108.66	L1	元砂七夕美	奈良	108 期	54.88	L1	布居光	和歌山	118 期	46.40					

栗山 和樹 (岐阜/125期)

2月に9連勝を達成すると、S級5場所目の5月奈良で早々と初Vを飾った好素材。まだ安定感には欠けるものの、機動力は一級品で、今シリーズ注目の1車だ。



橋本 壮史 (茨城/119期)

このところ決勝では結果を出せていなかったが、6月岸和田では今年初V。初日特選で逃げ切ると、決勝は上がり 11 秒1の快速まくりを決めた。上位戦でも目が離せない。



黒瀬 浩太郎 (広島/123期)

4月伊東のケイリンアドバンスでは3連勝を達成。準決を乗り切れない場所も目に付くが、スピードには素晴らしいものがある。仕掛けがツボにはまると怖い。



GIRLS KEIRIN

L 級

ガールズ A.B

児玉碧衣が登場!!

ガールズA展望



石井 寛子
【東京・104期】



児玉 碧衣
【福岡・108期】

トーナメントAには児玉碧衣が登場する。ベストな練習を見付けてモチベーションが上がり、今年最初のG1のオールガールズ1①②着の準決では佐藤水を先まくりで破った。その後の普通開催ではいつも通り連勝街道を歩み、G1第二弾のパールカップではまさかの予選敗退に終わったものの、これは組み立てのミスとはっきりしている。負け戦は11秒台の上がりで連勝した。その後はオールスターのファン投票で9年連続の1位という発表もあり、さらなる追い風も得た。これも期待に応える豪快な攻めで威厳を示す。

地元ホームの石井寛子が相手の一番手となるが、パールカップで落車して影響が気掛かり。デキに問題なければ昨年のグランプリ女王として児玉の独走ムードを止めたところで、ダッシュと経験値を生かした総力戦でどこまで立ち向かっていけるか。

石井が本調子でない場合は次位混戦で、同期の児玉後位に狙いを絞ってやることも考えられる元砂七夕美が最も魅力的か。状態は確実に上がってきていて、5月奈良で約6年ぶりのVを飾った他、非常に安定した成績を残している。藤田まりああ突っ込みも怖い。仕掛けが早いタイプではないものの、最後にまくり、追い込みで伸びてくるので連対率は高い。位置取り重視の自在戦で成績をまとめている中島瞳、先行主体の積極策で売り出し中の伊藤優里のヤング2人も見逃せない。動いている國村美留莉、野寺楓にも注意。

梅川風子 VS 太田りゆ

ガールズB展望



太田 りゆ
【埼玉・112期】



梅川 風子
【東京・112期】

トーナメントBは梅川風子、太田りゆの元ナショナル組の2人の頭が抜けている。本命は地元ホームで負けられない梅川だ。今年に入ってから成績はパーフェクトと言って良いもので、G1の準決と決勝で3着2回、4着1回ある以外は直近の7月前橋まで全て勝っている。しっかり相手や流れを見てレースを動かしているし、踏み出してからのスピードの切れも文句なし。これも勝てる形を作っての一撃で連勝を伸ばしていこう。

太田りは試行錯誤している印象で時折り取りこぼしがある。ただ、スピードは梅川に見劣りせず、7月名古屋1①着の決勝は最終ホーム最後方から上がり11秒7の快速まくりを決めて、柳原真緒らに大差勝ちしだった。じっくり構えてのまくりで他を一蹴するレースが多いが、これも自分のスタイルを崩さず、同期の梅川に真っ向勝負を挑む。

だが、大浦彩瑛、太田美穂の追加参戦で一気に激戦ムードとなった。大浦は実力をレースで出し切れるようになり、今年3V、準V7回と破竹の快進撃。規格外ルーキーの酒井亜樹を相手に先行勝負に出た7月岸和田の決勝は見応えあった。太田美もV1、準V6回と自力で常にV争いに絡んでいる。この2人なら梅川、太田りの2強も脅かす。

杉浦菜留も6月静岡で完全優勝するなど絶好調。梅川と並んで地元ホームの石井貴子や豊岡英子も機動力高いし、ルーキーシリーズで準V2回の岡田優歩も気になる。